



STAMP RALLY 川のしおり

概要

OUTLINE

担 当：情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
日 時：2016年7月16日(土)～9月25日(日)
場 所：美術館 ホール、庭園
スタッフ：情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 2人、他
参 加 費：無料
参加人数：配布したスタンプ用紙 1,848枚

情報科学芸術大学院大学(IAMAS)の学生、研究生が企画し、制作したスタンプラリー。川と周囲に生息する生き物をデザインした9種類のスタンプを館内ホール4カ所に設置した。参加者はしおり型の紙にスタンプを押した。すべて集めた参加者には、川の生き物がデザインされたシールとしおりにつける紐をプレゼントした。



スタンプを押す様子



スタンプラリーのゴール



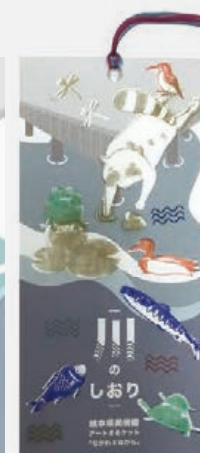
スタンプ台の上



シール



スタンプラリー用紙



完成したしおり





DEMONSTRATION & WORKSHOP

水車を組み立て、回してみよう。



概要

OUTLINE

担 当：国際たくみアカデミー
 日 時：2016年7月17日(日) 10:00～12:00
 場 所：美術館 庭園
 スタッフ：国際たくみアカデミー 12人、
 美術館 1人、他
 参 加 費：無料
 参加人数：41人



事前の現地調査

庭園の川に設置する水車をつくるデモンストレーション。国際たくみアカデミーの学生と教職員があらかじめ川の現地調査、設計、部材の製作、仮組みを準備した。当日は学生がインストラクターとなり、参加者と一緒に水車を組み立てるワークショップを行った。参加者はパーツの組み立てやハネの取り付けなどの作業を行い、その後、川に設置した。

娘(小6)が参加しました。大工関係はあまり上手ではありませんが、係の人に聞きながら参加しました。少しずつ形になっていくようで楽しくやれています。(岐阜市・40代女性)

子どもメインの工作のような感じかと勝手に思っていたので予想外だったが、子どもは真剣に見入っていたので良かったんじゃないかと思う。(美濃市・30代女性)



川辺で組み立て



ハネの取り付け



川の中に設置



設置された水車





WORKSHOP ぎふの木でつって 浮かべてあそぼう

概要

OUTLINE

担 当：森林文化アカデミー

日 時：2016年7月31日(日)

①11:00～12:30

②14:00～15:30

場 所：美術館 スタジオ、展示室、庭園

スタッフ：森林文化アカデミー 6人、

美術館 2人、他

参 加 費：1,000円

参加人数：①22人 ②11人

ワークショップの流れ

FLOW

- ① 木材のサクラ、クリ、カシ、ホノキ、スギについて説明する。
- ② 各テーブルにスタッフが1人ずつ付き、やすりがけする。
- ③ 美術館スタッフとともに、企画展「ゆるり日本画 絵の中の旅」の中で花の絵を鑑賞する。
- ④ ねがいを込めながら、絵具や色鉛筆で「はなブネ」に絵付けする。
- ⑤ 完成した「はなブネ」を持って庭園に移動し、記念撮影を行う。
- ⑥ 庭園の川で作品を浮かべ、流れる船を追いかける。

木材で船(「はなブネ」)をつくるワークショップ。親子で楽しみながら木に触れてもらう、船を作って流すまで体験し、自然のつながりを感じてもらう、絵と庭を通して自然を感じてもらう、以上3項目を設定した。森林文化アカデミーの学生がインストラクターとなり、参加者は実際に木材に触れて色や硬さの違いを実感しながら船をつくり、庭園の川で浮かべて遊んだ。

「はなブネ」にどんなねがいをこめましたか？

夏を楽しくすごせるように！

(本巣市・12歳以下女性)

早く大きくなれますように

(岐阜市・12歳以下女性)



やすりがけ



スタッフからの説明



花の絵を絵付け



鑑賞



はなブネ



船と追いかっこ



WORKSHOP

ふわふわコットン

概要

OUTLINE

担 当：美術館
日 時：2016年8月6日(土) 10:30～15:00
場 所：ぎふ清流文化プラザ
(岐阜市学園町3丁目42)
スタッフ：美術館 6人、
美術館サポーター 2人、他
参加人数：46人

ワークショップの流れ

FLOW

- ① ぎふ清流文化プラザの外で育てている綿の周りに肥料を撒く。
- ② 台紙に背景の空となる青色を塗る。
- ③ 綿を好きな形にちぎり、台紙に貼る。
- ④ 完成後、ぎふ清流文化プラザ中央の階段ガラス部分に飾る。

サテライト会場のぎふ清流文化プラザで、綿を使って様々な形をつくるワークショップ。参加者はぎふ清流文化プラザで育成した和綿の世話や、綿の柔らかさ、手触りなどを感じながら綿で様々な形をつくった。完成後、ぎふ清流文化プラザ内で展示した。このワークショップでは、ぎふ清流文化プラザで行われている、障がいのあるなしに関わらず、ともに文化芸術の創造活動を行うtomoniプロジェクトと連携し、アートまるケットに合わせて美術館庭園でも和綿を育てた。



綿に肥料を撒く作業



背景を塗る作業



乾燥



見本を参考にする様子



展示風景





WORKSHOP

水辺の街"ケン美カラー・HUIS(うち)"で 1日アムステルダム

概要

OUTLINE

担 当：森林文化アカデミー

日 時：2016年8月20日(土) 13:30～15:00

8月21日(日) ①10:30～12:00 / ②13:30～15:00

場 所：美術館 スタジオ、ホール

スタッフ：森林文化アカデミー 3人、NGOガイアの杜 2人、美術館 2人、他

参 加 費：1,000円

参加人数：8月20日 23人、8月21日 ①16人 ②11人

ワークショップの流れ

FLOW

- 1 アムステルダムの街並みについて説明する。
- 2 木材を選び、やすりをかける。
- 3 たんぽで色付けし、スタンプで窓やドアをつける。
- 4 水辺の街に自分の家を設置する。
- 5 名前と住所を「住民登録」し、その場所を選んだ理由を発表する。

アムステルダムのような水辺の街のジオラマを制作するワークショップ。水と流れをテーマに、住まい・まちづくりに対する関心と社会性を育み、建築と都市の環境向上へ寄与することを目的とした。森林文化アカデミーの卒業生が組織するNGOガイアの杜と学生がインストラクターとなり、参加者は様々な形や大きさの木材でつくった自分の家を水辺の街に設置した。ワークショップ後、完成した街をホールで展示した。



チラシ

住民票



木を選ぶ作業



色ぬり



スタンプ



ジオラマに家を設置



住民票に記入





WORKSHOP

地球は丸い、苔も丸い

概要

OUTLINE

ワークショップの流れ

FLOW

担当：国際園芸アカデミー

日時：2016年8月27日(土)

①11:00～11:45

②13:00～13:45

場所：美術館 実習棟

スタッフ：国際園芸アカデミー 18人、

美術館 1人、他

参加費：無料

参加人数：①16人 ②20人

- ① 苔はあらかじめ水に浸し、やわらかくする。
- ② 植物をポットから取り出し、根に付いた土を落とす。
- ③ 根に土を貼り、形を整える。
- ④ 苔を土にかぶせ、密着させる。
- ⑤ 苔がはがれ落ちないようにテグスで苔を巻き上げる。完成後、水につける。

苔玉づくりをとおして植物を育てる楽しさを体験するワークショップ。昨年と同様、国際園芸アカデミーの学生がインストラクターとなり、テーブルごとに担当した。参加者は受け皿とコクテナシ、アジュガ、リシマキア、ヤブコウジなどから好きな植物を選び、様々な形の苔玉をつくった。完成後、園芸アカデミー教員が育成方法について解説した。

とても楽しかったです。(苔玉は、いつか作ってみたいと思っていたので)大切に育てます。素敵な企画が沢山あってとても良いと思います。他企画にも参加したいと思っています。

(岐阜市・50代女性)

やさしくおしえてもらっていいさくひんができました。

(各務原市・12歳以下男性)



学生による説明



学生による指導



土の準備



形を整える作業



皿えらび

